



墜落制止用器具特別教育 (フルハーネス型安全帯)

主催:東京土建 技術研修センター

フルハーネス型安全帯は、墜落阻止時に身体が安全帯から抜け出さないように複数のベルトで構成されていますが、胸ベルト型安全帯は、1本のベルトを胸回りに巻きつけて身体拘束を行う構造になっています。墜落阻止時の衝撃荷重によって胸ベルトが伸びて緩みが生じ、胸ベルトがずりよがることによる胸部・腹部への圧迫(死亡事例が多く発生)、あるいは抜けによる地面への落下の危険性が考えられます。

また、胸ベルト型安全帯の場合、墜落阻止時に身体が「くの字」となり、腹部などへの圧迫が大きくなる可能性や、つり元であるD環の位置が身体の重心位置(腰部付近)よりも下(脚部側)になる“逆さま姿勢”となる可能性もあります。

平成31年2月の法改正により、現在フルハーネス型安全帯を使用している方は、特別教育が必要になる現場が出てきます。

正しい知識や使用方法を学び、墜落による労働災害をなくしていきましょう。

と き 6月30日(日)

午前9時より午後5時30分まで(遅刻厳禁:6時間講習)

受付開始時間 午前8時30分～

講習会場 東京土建一般労働組合 調布支部

東京都調布市深大寺元町1-15-1

受講資格 18歳以上の組合員

定 員 30人(申込者が、15人に届かない場合、講習は開催しません)

受講料 9,000円 (お弁当とお茶が付きます)

支部窓口にて下記、仮申込書と受講料と写真「縦3cm横2.5cm」1枚、印鑑(認印)を添えてお持ちください。申込用紙(本申込)を記入していただきます。(ライカ統合する方はライカをお持ちください)

申込み締切:6月18日(火)午後5時 担当:あかいけ *当日欠席の場合講習料金の返金します。



墜落制止用器具特別教育(フルハーネス型安全帯)受講 仮 申込書

(ありがな) 氏 名		生年月日	昭和・平成 年 月 日生
住 所	最終学歴 大 短 高 中		
電 話 携帯電話	() ()	講習 会場	東京土建一般労働組合 調布支部 東京都調布市深大寺元町1-15-1